

2025年度第 1 四半期 決算説明資料

2025年7月29日

	<スライド番号>
I 2025年度第1四半期 決算概要	
決算概要 1
セグメント別決算概要 4
発電電力量 8
(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績) 9
2025年度 業績見通し10
(参考) 米国の関税政策による影響12
II 参考データ：決算・財務関連	
連結収支比較表13
連結財政状態の概要14
セグメント別業績見通し15
財務関連指標16

I 2025年度第1四半期 決算概要

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「1Q」表記は4月から6月までの期間を指します。
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

決算概要①

〈決算概要〉（連結）

- 売上高：8,003億円
2024年度第2四半期にトーエネックが子会社から関連会社になったことによる影響（△340億円）などから、前年同期に比べ202億円の減収
- 経常損益：1,048億円
ミライズにおける電源固定費の負担増や、前年豊水の反動、JERAにおける海外・再エネ発電事業の利益減などから、前年同期に比べ200億円の減益
- 親会社株主に帰属する四半期純損益：853億円
経常損益の減少などから、前年同期に比べ142億円の減益

- ・ 売上高は、2024/1Qに続き、2年連続の減収
- ・ 経常損益は、2024/1Qに続き、2年連続の減益
- ・ 2024/1Qに続き、2年連続の減収減益

(億円,%)

	2025/1Q (A)	2024/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	8,003	8,205	△202	△2.5
営業損益	679	858	△179	△20.9
経常損益	1,048 (760程度)	1,249 (1,110程度)	△200 (△350程度)	△16.1 (△31.6)
親会社株主に帰属する四半期純損益	853	995	△142	△14.3

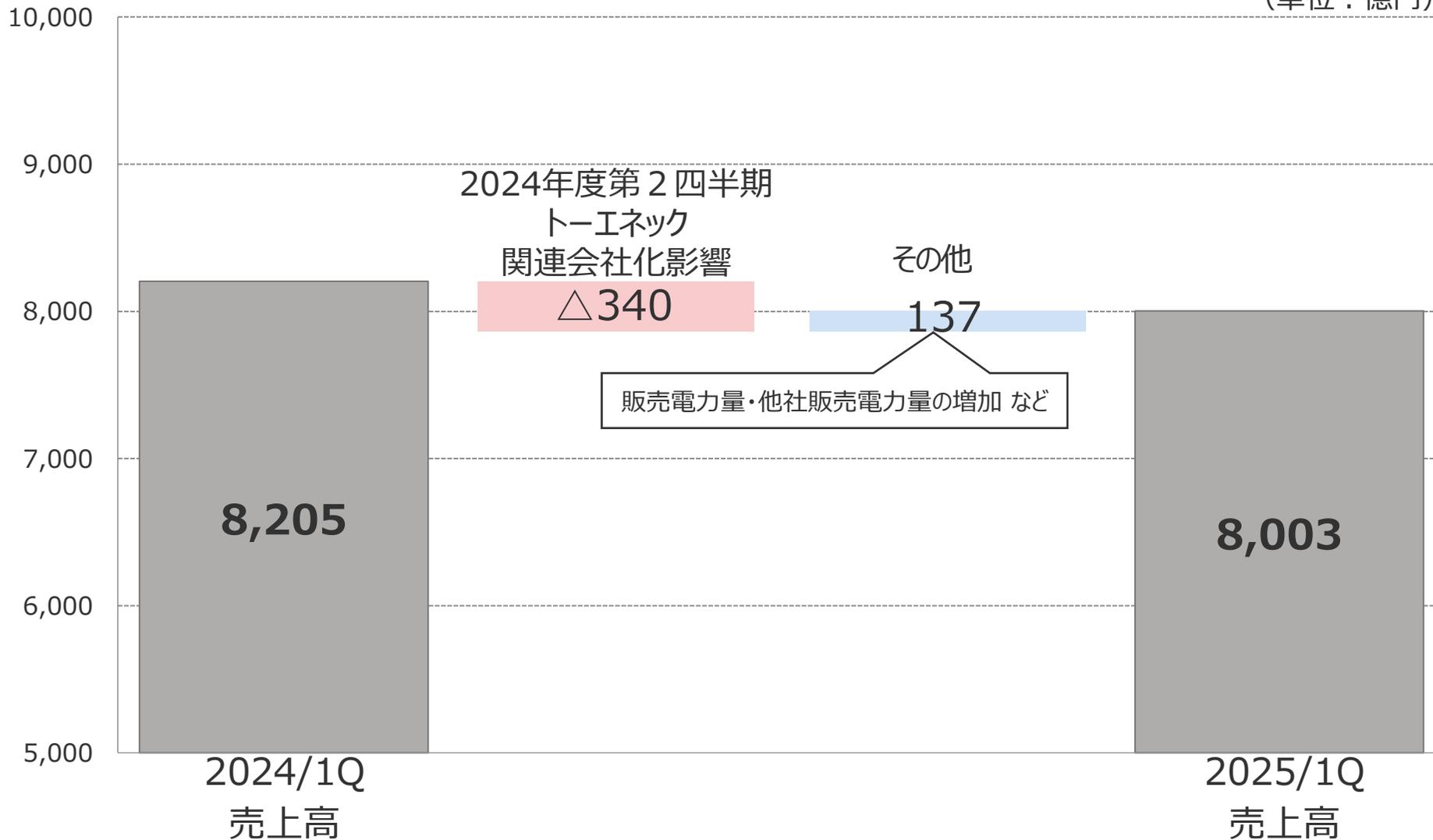
(注)・連結対象会社数 2025/1Q 連結子会社 76社【+1社】 持分法適用会社 89社【+8社】 【【】内は前年同期差】

・（ ）内は期ずれ除き経常損益

決算概要②

〈連結売上高の変動要因〉（202億円の減収）

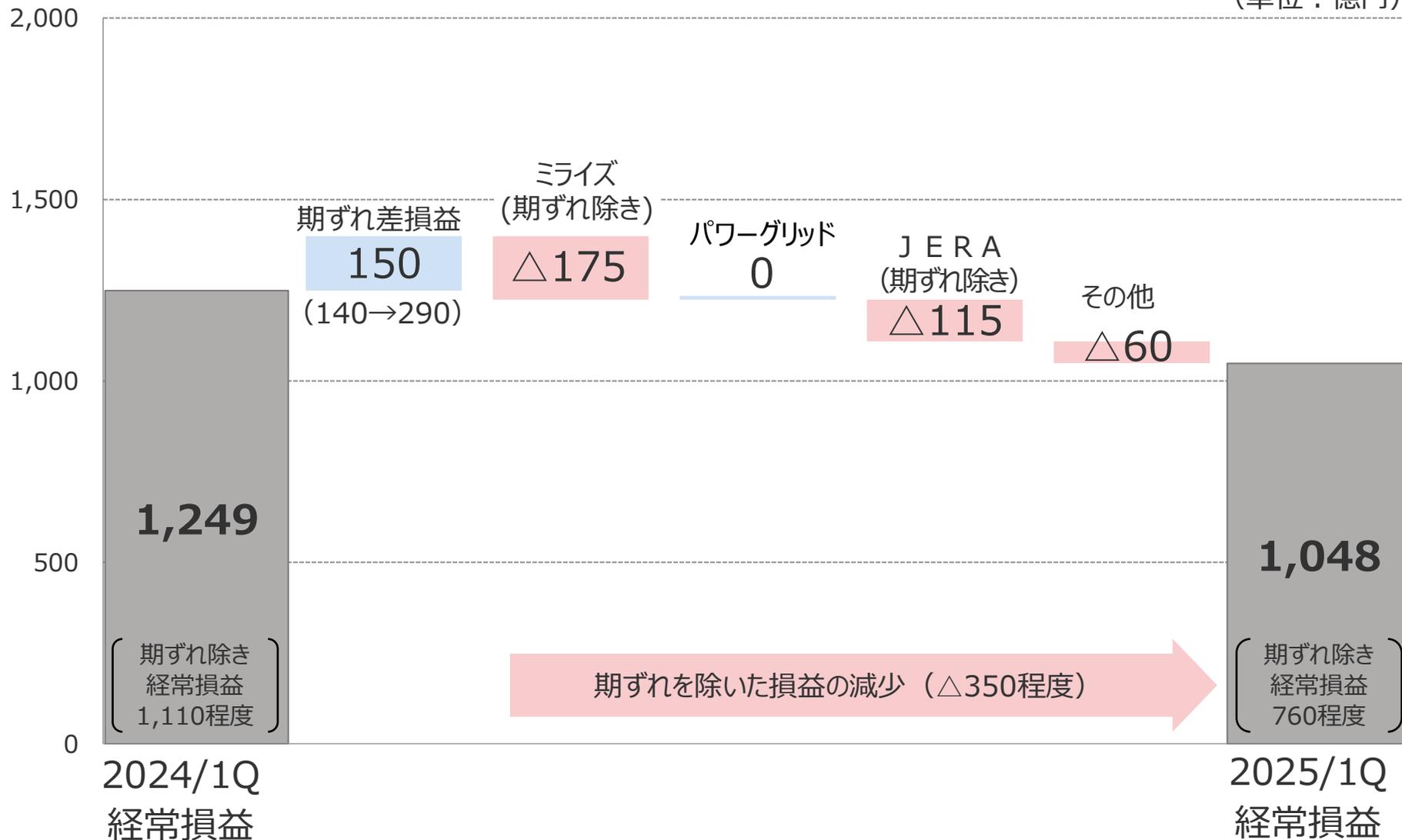
（単位：億円）



決算概要③

〈連結経常損益の変動要因〉 (200億円の減益)

(単位：億円)



セグメント別決算概要①

(億円,%)

		2025/1Q (A)	2024/1Q (B)	増減	
				(A-B)	(A-B)/B
売上高	ミライズ	6,702	6,555	146	2.2
	パワーグリッド	2,028	1,950	77	4.0
	その他(※1)	1,561	2,148	△587	△27.3
	調整額	△2,288	△2,448	159	△6.5
	合計	8,003	8,205	△202	△2.5
経常損益	ミライズ	514	660	△145	△22.0
	パワーグリッド	40	40	0	1.0
	J E R A (※2)	424	419	4	1.1
	その他(※1)	1,170	458	712	155.5
	(再掲)不動産事業(※3)	27			
	調整額	△1,102	△328	△773	235.0
	合計	1,048	1,249	△200	△16.1

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。

※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、事業創造部門、グローバル事業部門、不動産事業部門、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

※2 J E R Aは、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

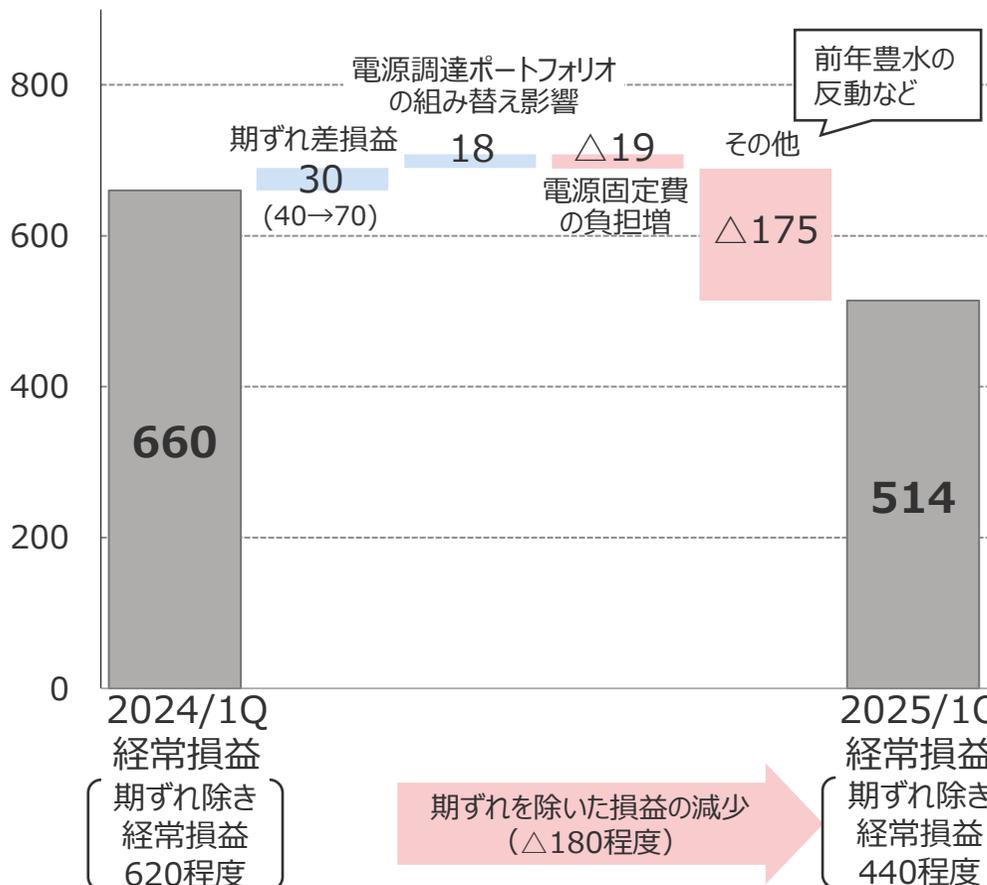
※3 2025年4月1日より不動産事業本部を設置しております。

セグメント別決算概要②：ミライズ

〈経常損益の変動要因〉

- 電源調達ポートフォリオの組み替えによる費用削減効果等の拡大はあったものの、電源固定費の負担増や前年豊水の反動などから、前年同期に比べ 145億円の減益
(参考) 期ずれを除いた経常損益：440億円程度 (前年同期に比べ 180億円程度の減益)

(単位：億円)



(販売電力量)

(億kWh,%)

	'25/1Q (A)	'24/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	61	64	△2	△3.9
高圧・特別高圧	187	181	6	3.6
合計	248	244	4	1.6

競争影響 +3程度、気温・景気等 +1程度

[参考]

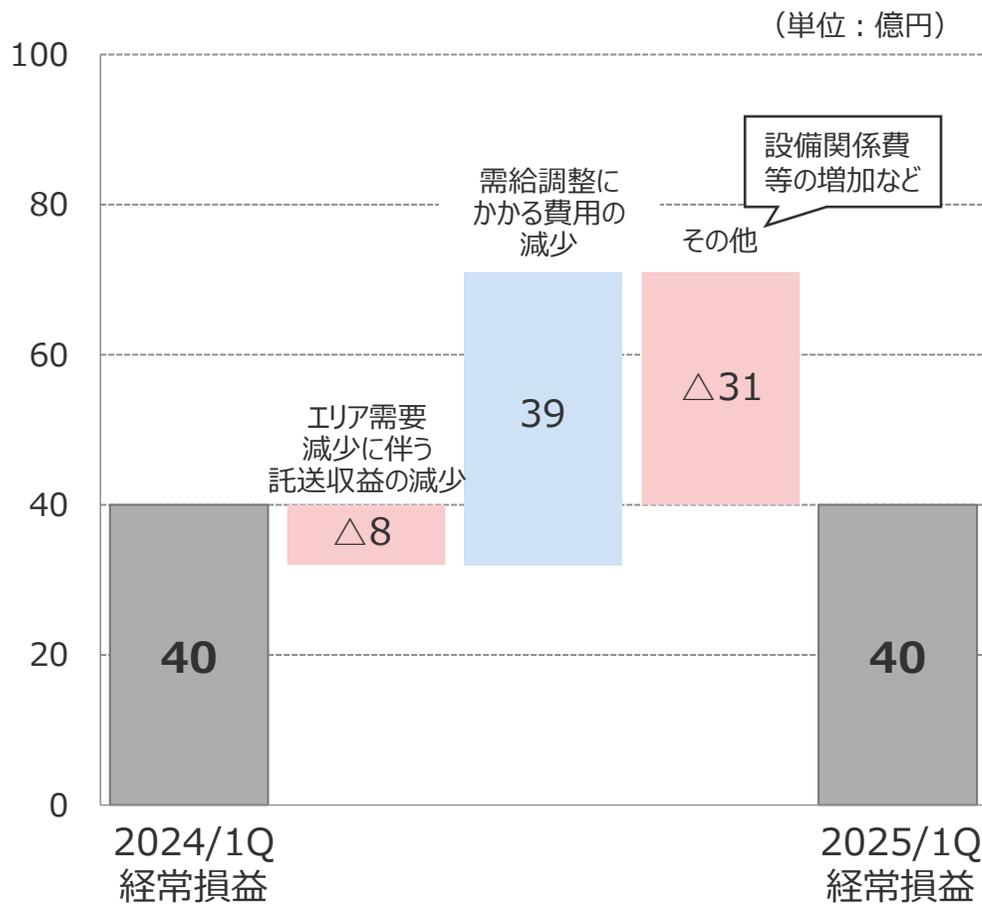
グループ合計の 販売電力量	272	264	8	2.9
他社販売電力量	42	40	2	4.1

- ※ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。
- ※ 他社販売電力量は中部電力ミライズの子会社および関連会社への販売電力量を除いて記載しております。
- ※ 他社販売電力量は期末時点で把握している電力量を記載しております。

セグメント別決算概要③：パワーグリッド

〈経常損益の変動要因〉

- エリア需要の減少に伴う託送収益の減少や設備関係費等の増加はあったものの、需給調整にかかる費用の減少などから、前年同期並みの40億円



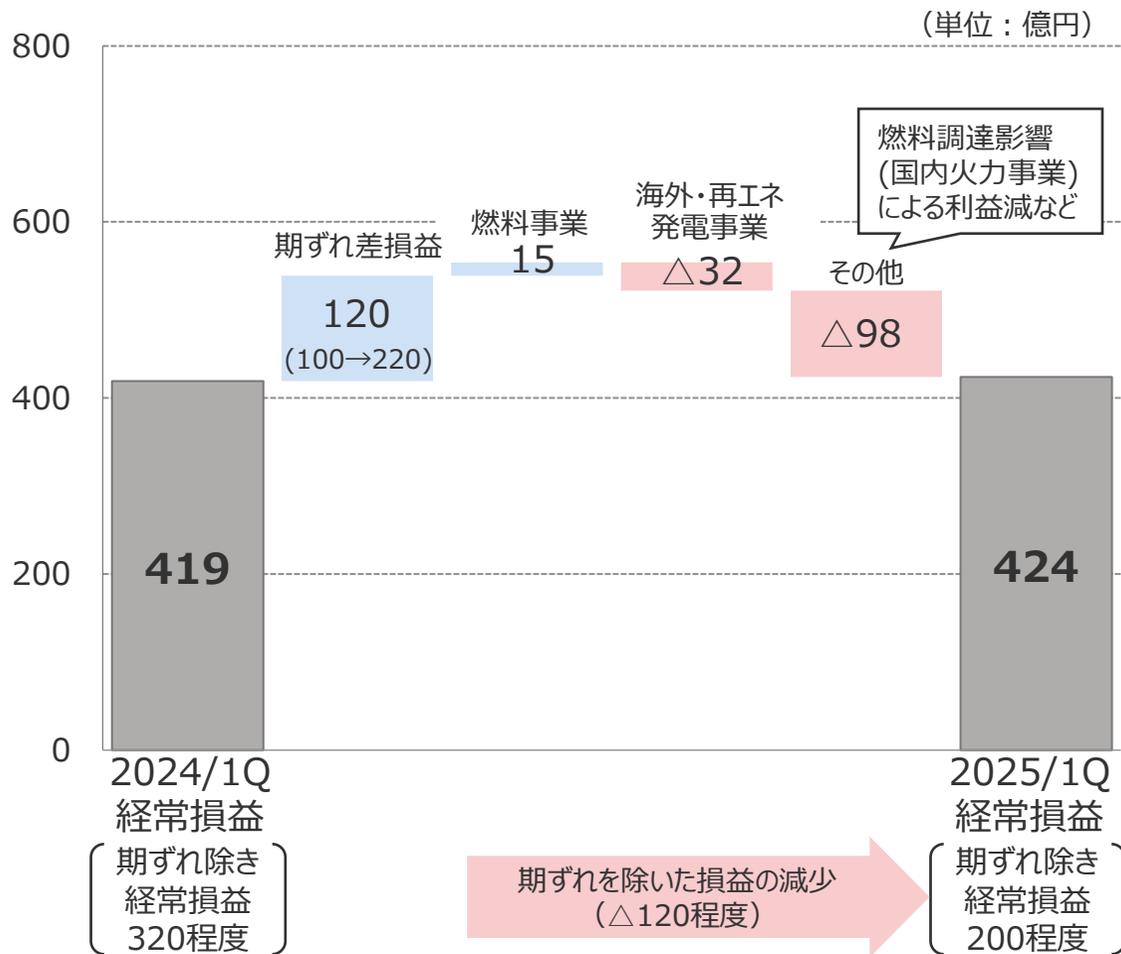
(エリア需要) (億kWh,%)

	'25/1Q (A)	'24/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	78	80	△2	△2.1
高圧・特高	200	199	1	0.3
合計	278	279	△1	△0.4

セグメント別決算概要④：J E R A

〈経常損益の変動要因〉

- 海外・再エネ発電事業の利益減はあったものの、期ずれ差益が拡大したことなどにより、前年同期に比べ 4億円の増益
(参考) 期ずれを除いた経常損益：200億円程度 (前年同期に比べ 120億円程度の減益)



(CIF価格・為替レート)

	'25/1Q (A)	'24/1Q (B)	増減 (A-B)
原油CIF価格(\$/b)	74.8	87.6	△12.8
為替レート(円/\$)	144.4	156.0	△11.6

(注) 2025/1Qの原油CIF価格は速報値

(参考：JERA連結決算値)

(億円)

	'25/1Q (A)	'24/1Q (B)	増減 (A-B)
連結純損益	925 (483程度)	934 (730程度)	△8 (△247程度)

() 内は期ずれ除き連結純損益

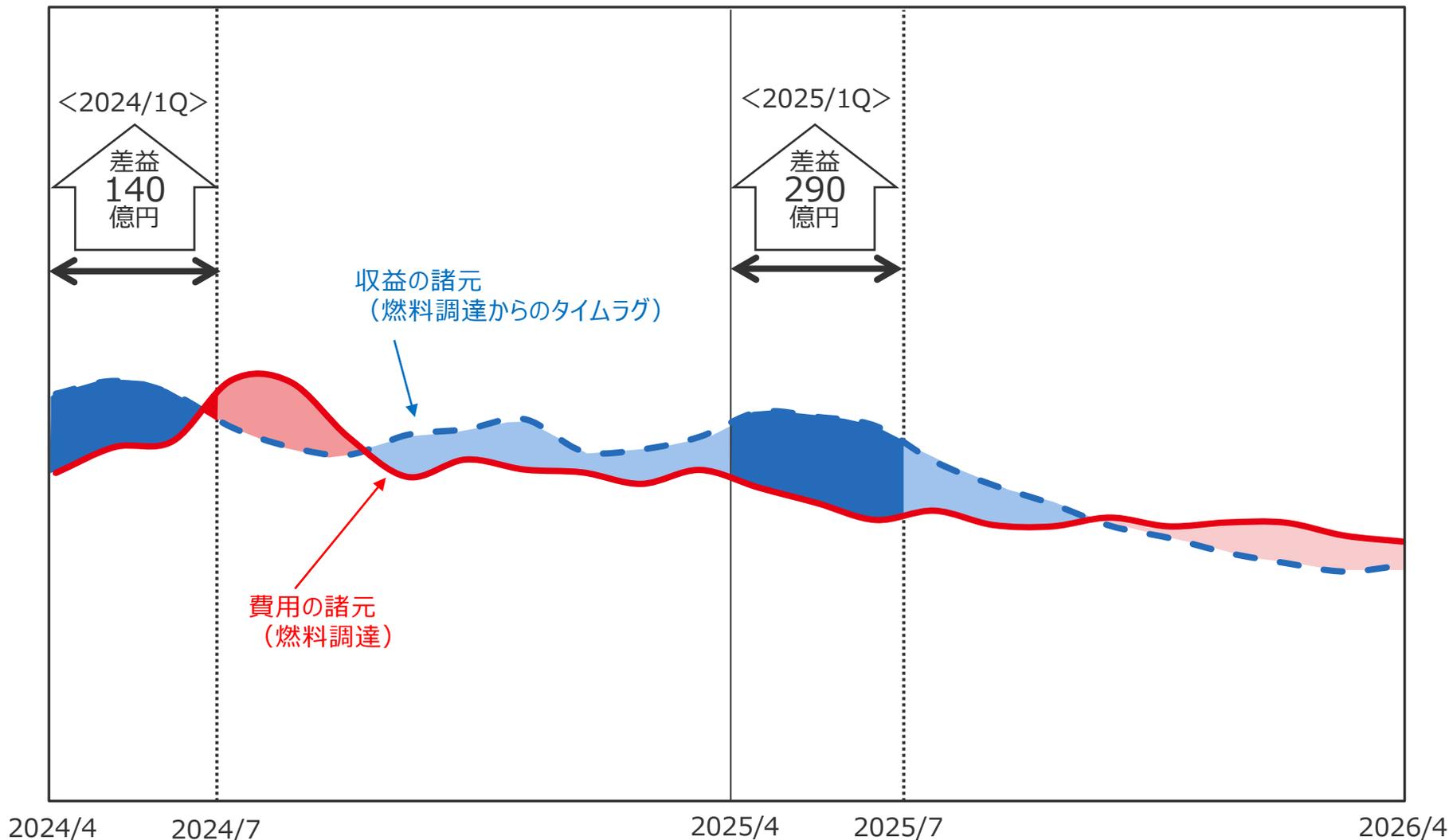
〈発電電力量〉（中部電力）

- **水力** 出水率が前年同期を下回ったことなどから、2億kWh減少
- **新エネルギー** 前年同期並み

(億kWh,%)

	2025/1Q (A)	2024/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	30 (103.8)	32 (116.1)	△2 (△12.3)	△5.8
原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
新エネルギー	1	1	△0	△5.6
合計	31	33	△2	△5.8

(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



(注) 金額はJERAおよびミライズにおいて発生した期ずれ差損益の合計を記載しております。

2025年度 業績見通しの概要①

〈業績見通し〉(連結) 2025年4月28日公表の業績予想値から変更なし

- 売上高 : 3兆5,500億円
- 経常損益 : 2,300億円

- ・ 売上高は、2023年度以来、2年ぶりの減収
- ・ 2021年度以来、4年ぶりの減収減益
- ・ 経常損益は、2024年度に続き、2年連続の減益

(億円,%)

	今回公表 (A)	4/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	35,500	35,500	—	—
経常損益	2,300 (2,100程度)	2,300 (2,100程度)	—	—
親会社株主に帰属する当期純損益	1,850	1,850	—	—

[参考] 前期比較

(億円,%)

	今回公表 (A)	2024年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	35,500	36,692	△1,190程度	△3.2
経常損益	2,300 (2,100程度)	2,764 (2,640程度)	△460程度 (△540程度)	△16.8 (△20.5)
親会社株主に帰属する当期純損益	1,850	2,020	△170程度	△8.5

() 内は期ずれ除き経常損益

2025年度 業績見通しの概要②

【主要諸元】

(中部電力ミライズの販売電力量)

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	4/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,072	1,072	—	—
グループ合計の販売電力量	1,183	1,183	—	—

[参考] 前期比較

競争影響 +10程度、気温・景気等 △16程度

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	2024年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,072	1,079	△6	△0.6
グループ合計の販売電力量	1,183	1,173	11	0.9

(注) グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。

(その他)

	今回公表	4/28公表	<参考> 2024年度実績
原油CIF価格 (\$/b)	72程度	74程度	82
為替レート (円/\$)	143程度	146程度	153
原子力利用率 (%)	—	—	—

(参考) 米国の関税政策による影響

〈米国の関税政策による電力需要への影響〉

- 2025年4月28日公表時点における電力需要への影響は、以下参考のとおりと認識しておりましたが、2025年4～6月の中部エリアにおける産業用の電力需要は計画通り推移しており、現時点で大きな影響は生じていないものと考えております。
- 一方で、米国の関税政策により、今後、自動車等の輸出量の減少が懸念され、自動車関連の産業集積地である中部エリアの電力需要に一定の影響が生じる可能性があると考えております。
- 引き続き、米国の関税政策の動向を注視し、業績見通しに大幅な変化が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

[参考] 2025年4月28日公表「2024年度 決算説明資料」スライド番号13

- 米国の関税政策により、今後、自動車等の輸出量の減少が懸念され、自動車関連の産業集積地である中部エリアの電力需要に一定の影響が生じる可能性が高いと考えております。
- 2019年に米国が中国に対する関税の引き上げを実施した際は、米中貿易摩擦の懸念から、日本の中国向け輸出が減少したこと等により、2019年度の中部エリアにおける産業用の電力需要は2018年度に比べ、20億kWh程度減少いたしました。
- 仮に2019年度と同程度の電力需要の減少影響が生じた場合、一定の仮定をおいて試算すると、連結大の収支において数十億円程度の悪化影響があるものと想定しております。
- なお、電力需要が減少した場合においても、市場価格や燃料価格の変動を捉えた電源調達費用の削減等により収支悪化を抑制し、今回公表した業績見通しにおける利益水準の確保に努めてまいります。

〈その他の影響〉

- 原油CIF価格、為替レート、金利の変動による収支影響

			収支への影響額
原油CIF価格 (+1\$/b)	※1		△20億円程度
為替レート (+1円/\$)	※1		△5億円程度
金利 (+1%)	※2		△30億円程度

※1 原油CIF価格や為替レートは、J E R Aにおける期ずれへの影響額
※2 金利は、当社の支払利息への影響額

Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

連結収支比較表

(億円,%)

	2025/1Q (A)	2024/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益 (売上高)	8,003	8,205	△202	△2.5
持分法による投資利益	426	409	16	4.0
その他収益	27	57	△29	△52.0
営業外収益	453	467	△13	△2.9
経常収益	8,456	8,673	△216	△2.5
営業費用	7,323	7,347	△23	△0.3
営業外費用	84	76	8	10.8
経常費用	7,408	7,423	△15	△0.2
(営業損益)	(679)	(858)	(△179)	(△20.9)
経常損益	1,048	1,249	△200	△16.1
濁水準備金引当又は取崩し (△)	1	3	△2	△65.1
法人税等	196	234	△37	△16.1
非支配株主に帰属する四半期純損益	△2	16	△18	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	853	995	△142	△14.3

連結財政状態の概要

(億円)

	2025/6末 (A)	2025/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	71,200	71,248	△47
負債	42,610	42,662	△52
純資産	28,590	28,585	5

(億円)

	2025/6末 (A)	2025/3末 (B)	増減 (A-B)
自己資本比率(%)	39.2	39.1	0.1
有利子負債残高	31,924	30,778	※ 1,145

※有利子負債残高の増減の内訳は、次のとおりでございます。

- ・調達・返済による影響 1,035億円
- ・連結範囲の変更による影響 110億円

セグメント別業績見通し

〈セグメント別業績見通し〉(経常損益)

2025年4月28日公表の業績予想値から変更なし

(億円,%)

	2025年度予想 (A)	2024年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	950 (900程度)	1,170 (1,250程度)	△220程度 (△350程度)	△18.9 (△28.0)
パワーグリッド	100	475	△380程度	△79.0
J E R A	950 (800程度)	673 (470程度)	280程度 (330程度)	41.1 (70.2)
その他・調整額	300	443	△140程度	△32.4
(再掲) 不動産事業 ※	200			
合計	2,300 (2,100程度)	2,764 (2,640程度)	△460程度 (△540程度)	△16.8 (△20.5)

※ 2025年4月1日より不動産事業本部を設置しております。

() 内は期ずれ除き経常損益

財務関連指標

(%)

	2024年度実績	2025年度予想	2025年度 中期経営計画公表
ROI C	3.8	3.3	3.2以上
ROA	4.1	3程度	—
ミライズ	17.6	12程度	—
パワーグリッド	2.5	1程度	—
J E R A	3.3	5程度	—
不動産事業 ※	—	5程度	—
ROE	7.0	6程度	7程度

※ 2025年4月1日より不動産事業本部を設置しております。

(注1) ROI C = 利払前・税引後経常損益 / 期首期末平均投下資本 (有利子負債残高 + 純資産)

ROA = 事業損益 (経常損益 + 支払利息) / 期首期末平均総資産

ROE = 当期純損益 / 期首期末平均自己資本

(注2) 経常損益および当期純損益は、期ずれ除きの数値

本資料取扱上のご注意

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる場合があります。